



学校だより 2月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子
神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和6年1月31日
横浜市立神奈川小学校

壁をなくして、心をつなごう

副校長 松村 博行

かな小池のほとりにある梅の木に、きれいなピンク色の花が咲きました。まだまだ寒い日が続いていますが、少しずつ春の足音が近づいていることを感じさせます。

さて、私事ではありますが、現在中学3年生になる担任時代の教え子から今年届いた年賀状にこんな一文が書かれていました。「先生から教えてもらった『非壁三原則』を今でもよく覚えていて、いつも意識しながら中学校生活を送っています。」



『非壁三原則』とは、私自身が当時考えた造語で、6年生の社会科で学習する「非核三原則」になぞらえ、人と人との間に存在しがちな心の壁について3つの大切なことを挙げたものです。その3つの原則とは「壁を、作らない、感じさせない、そのままにしない。」です。友達や周囲の人に対して壁を作ってしまうこと自体もよくないことですが、例えばひそひそ話など自分はそのつもりはなくても相手に壁を感じさせてしまう行動にも気を付けなければならないことや、自分自身や自分の周りに壁があると感じた時は、その壁をクリアにする努力をすべきである、という思いが込められています。合わせて、この三原則を達成するために、誰に対しても同じように思いやりをもって接すること、相手の気持ちを想像して行動すること、進んで話をしたりあいさつをしたりして心をつなぐことを大切にしてほしいという願いも含んでいます。これらの内容は、先日の朝会で子どもたちにも話をしました。

思い返せば令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に移行されたことにより、様々な行事や活動が復活または進展を見せた1年となりました。5月の音楽朝会で久しぶりに全校児童が集まって作った歌声を耳にしたときは大きな感動を覚えました。1月23、24日に行われた神奈川区個別支援学級合同宿泊体験学習では、日頃の学校生活でも常に見られている学年を超えての協力・助け合いが一層発揮されていました。また、宿舎ではレクを通して他の学校の友達との交流を楽しみました。ミュージックフェスティバルでは全学年の発表をかなっ子みんなで聴き合うことができ、スポーツフェスティバルでは入場制限を設けず保護者の方にすべての競技・演技を見ていただくことができました。その他にも、全校児童が集まっての集会、1年生と幼稚園・保育園児との交流、5年生の区球技交流会など、直接交流する機会が大幅に増えました。



やはり、直接顔を合わせて関わることの温かさや、心が通い合ったときの喜びは、何事にも代えがたいものがあります。子どもたちは、いよいよあと2か月で進級や進学を迎え、今の学級で過ごす時間もだんだんと少なくなってきました。心と心の壁を取り払い、今の仲間との心のつながりを思い切り楽しみながら過ごす期間にしてほしいと願っています。